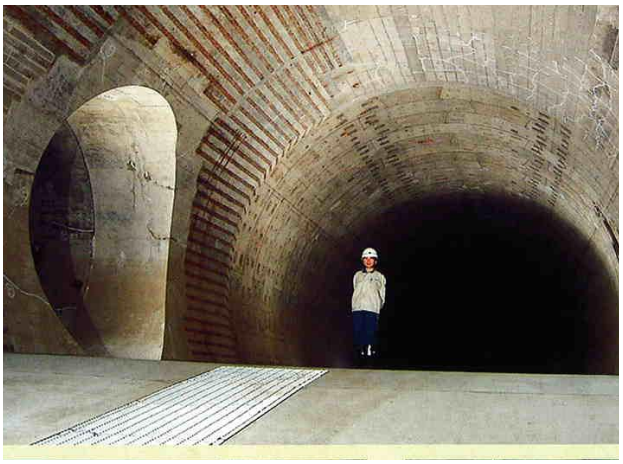
神田川･環状七号線
地下調節池見学会
～善福寺川取水施設～

善福寺川取水施設　全景（東京都パンフレットより）



調節池トンネル（東京都パンフレットより）

神田川・環状七号線地下調節池は、水害が多発する神田川中流域の水害に対する安全度を早期に向上させるため、将来構想である環七地下河川の一部区間を先行的に整備し、調節池として利用するものです。環状七号線の道路下に延長 4.5 ㎞、内径 12.5ｍのトンネルを建設し、神田川、善福寺川及び妙正寺川の洪水約 54 万㎥を貯留します。

平成 9 年 4 月から第一期事業箇所（神田川取水施設）、平成 17 年 9 月からは第二期事業箇所（善福寺川取水施設）平成 19 年 3 月からは（妙正寺川取水施設）の供用を開始しています。平成 22 年 12 月末までに 27 回の流入があり、下流域の浸水被害軽減に大きな効果を発揮しています。この施設の見学会を下記のとおり実施します。多くの皆様のご参加をお待ちしております

日　　時	平成２５年１月２９日（火）　１３：３０集合
集合場所	地下鉄東京メトロ丸の内線　方南町駅１番出口西口（裏面地図参照）
募集人数	４０名（先着順）
お申込み	メール及び携帯へ　boumatijyuku@yahoo.co.jp　携帯 080-4006-8819
行　　程	１４：００　善福寺川取水施設　管理棟１Ｆ会議室（杉並区堀の内２－１－１） 見学スタート
	１５：３０　見学終了予定

市民防災まちづくり塾・関東建設弘済会

神田川水系の概要

神田川は、三鷹市の井の頭池に源を発し、途中、善福寺川、妙正寺川を合わせ、新宿・豊島・文京の区境を東流し、さらに水道橋駅付近で日本橋川を分派したのち隅田川に注ぐ、延長 24.6 kmの一級河川です。本川の流域は、杉並区、中野区及び新宿区など 2 市 13 区に及び、都内を流れる中小河川の中では最大の流域面積 105 ㎢をゆうしています。

支川の善福寺川は、杉並区の善福寺池を源に、同区内を蛇行しながら流れ、中野区との区境付近で神田川に合流する延長 10.5 kmの河川です。また、妙正寺川は、杉並区の妙正寺池を源に、中野区内を東流し、江古田公園付近で江古田川を合わせて新宿区に入り、下落合駅付近で高田馬場分水路に流入する延長 9.7 kmの一級河川です。